

西北の課題「確かな学力」と「豊かな心・健やかな体」の育成に向けて 特に推進すべき事項

- 1 確かな学力を身に付ける授業づくり
- 2 道徳教育や生徒指導等の充実
- 3 教職員としての資質能力の向上



確かな学力を身に付ける授業づくり ➡ まずは評価計画の重視から

西北の学力の課題の一つとして「思考力・判断力・表現力等」の育成が挙げられます。そのため、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために授業改善を進めるよう各学校にはお願いしているところですが、まずは、**単元・題材を見通した評価計画を重視する**ようお願いいたします。

1 単位時間の授業を考える時、授業の目標を、目指すべき資質・能力の三つの観点から設定していきますが、これは1時間の授業単独で考え設定するのではなく、その授業が単元の中でどのような位置付けになっているのか分析して適切に目標を設定していく必要があります。

例えば単元の中で「知識・技能」を身に付ける時間として設定されている教材にも関わらず、思考の広がりや深まりを目標として設定した場合、協働的な学びや対話的な学びによる問題解決的な学習を取り入れたとしても、ねらいとする学習効果は期待できません。「知識・技能」を問うための教材が求めているのは、「正答」（正しい答え）だからです。協働的な学びや対話的な学びは「正答」を導き出すために設定するのではなく「異なる考えが組み合わせり良い学び・最適な答え」を導き出すためにあります。何時間もかけて蓄積してきた知識をこどもたち同士で持ち寄り、協働的な学びや対話的な学びを通して再構築し、最適な答えを創り上げていくことで、「深い学び」に繋がると考えております。

単元・題材など内容や時間のまとまりを見通した評価計画を重視し、今後とも「確かな学力を身に付ける授業づくり」及び「思考力・判断力・表現力等」の育成に取り組んでいってほしいと思います。

評価計画作成のポイント

① 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して評価計画を作成しましょう

② その学習が単元や題材でどのような位置付けになっているか、しっかり分析しましょう



児童生徒の望ましい生活習慣の確立のために

インターネットを利用した電子機器の急速な普及により、ネット依存やゲーム障害などの健康被害が大きな問題となっています。西北管内の多くの学校では、SNSやゲーム等の長時間の使用による生活習慣の乱れを喫緊の課題として取り上げ、その改善に向けて取り組まれているところです。ネット依存やゲーム障害は、勉強や生活・健康面よりも、SNSやゲームを優先し、使う時間や方法を自分でコントロールできない状態です。また、近年はネット上でのいじめやネットゲームへの多額の課金など、生徒指導面においても、トラブルが多数発生しております。

【 西北管内における、適切なインターネット等利用のための特徴的な取組 】

- 1 参観日における保護者向けのネットに関する研修会の実施
- 2 県教委と警察が連携して取り組んでいる合同サポートチーム「STEPS」の活用
※派遣申込手続については「西北の教育」P57を参照
- 3 集会等を活用した全校児童生徒への取組の呼びかけ
- 4 中学校区内や町内全ての小・中学校共通の約束やルールの設定



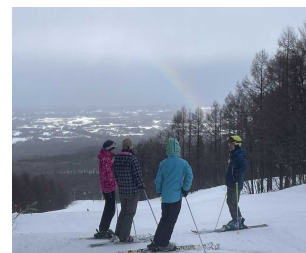
学校におかれましては、児童生徒へのネットやゲーム等の適切な使用方法や時間等についての指導は勿論ですが、SNSやゲーム等については、主に下校後の家庭において使用されることが多いですので、引き続き保護者に対するネット依存及びゲーム障害の未然防止等に関する啓発をお願いします。児童生徒の望ましい生活習慣の確立のために、保護者や地域、関係機関と連携を図りながら、SNSやゲーム等の適切な使用方法や時間に関する継続的な指導をお願いします。

今年度も開催します!!

冬季学校体育実技(スキー)講習会のお知らせ

申込期限! 12月12日(木) まで!

今年度も冬季学校体育実技(スキー)講習会を開催します。経験豊富な講師陣が、スキーの技術指導や児童生徒スキー教室での指導上の留意点などを丁寧に指導します。1日日程で実技中心の内容の濃い講習会となっておりますので、是非御参加ください。



- 日時 令和7年1月7日(火) 9:30~15:45
- 会場 青森スプリング・スキーリゾート(鱒ヶ沢町長平)
- 講師 板柳町立板柳南小学校 校長 三橋 孝行 氏 (SAJ公認指導員)
つがる市立穂波小学校 教諭 杉森 正任 氏 (SAJスキー技術員)
鶴田町立鶴田小学校 教諭 杉森 龍 氏 (SAJ公認指導員)
つがる市立木造中学校 教諭 藤元 和華子 氏 (SAJスキー技術員)
- 申込み 各校へ配付済みの実施要項を御確認の上、お申し込みください。
- その他 リフト・ゴンドラ代は自己負担となりますが、参加者は特別割引となります。
1日券6,600円が**4,200円**となります。



初任者研修コーナー

令和6年度の初任者研修対象の先生は24名です。
研修に対して真摯に取り組む姿を紹介します。

○ 一般授業研修 I

令和6年8月19日（月） 五所川原合同庁舎

教科ごとに学習指導案作成に関する演習を行うことで、学習指導における実践力を高めることを目的に行われました。近年の初任者研修対象者増加のため、今年度は五所川原市教育委員会、つがる市教育委員会にも演習に係る指導の協力をお願いしました。初任者の先生方は指導担当者の伴走型支援を受けながら学習指導案を作成していました。単元の指導計画における評価規準の見直しや、指導と評価を一体化させることの大切さに気付きながら演習を進める姿が見られました。



【作成に係る説明】



【演習】



【研修の振り返り】

○ 特別活動研修

令和6年10月30日（水） つがる市立稲垣中学校

【授業者】 3年A組担任 木村 賢也 先生

令和6年11月 7日（木） つがる市立稲垣小学校

【授業者】 5年担任 島川 有紀 先生

特別活動に関する授業参観や研究協議などを通じた研修を行うことで、特別活動の指導技術の向上を図ることを目的に行われました。この研修も初任者研修対象者増加により、今年度から校種別に分かれて研修を実施しました。小・中学校ともに学級活動(2)の授業参観でした。児童生徒自身が課題を自分事として捉え意見交流などを通して、今後の生活の望ましい在り方について意思決定をする授業でした。その後の研究協議においては、参観の視点に基づき、教師の働きかけやその効果、提案事項等について積極的に意見が交わされました。



【中学校：研究協議】



【小学校：授業参観】



【小学校：研究協議】

《 教職員の服務規律の確保について ～総務課から～ 》

今回は、体罰についてです。

体罰は、児童生徒の人権に対する認識の欠如から発生し、体罰によって児童生徒が表面上は従ったように見えても、実際は、屈辱感を持たせていたり、自尊感情を低下させたりするほか、暴力やいじめ等の背景になる場合もあります。

時と場合によりある程度の体罰は必要であるとか、児童生徒が体罰を受け入れているなど考えるのは、大人の勝手な思い込みです。

教職員は、保護者や地域の願いを受け止め、期待に応えるために努力しなければなりません。体罰を行った結果、当該教職員だけではなく、学校全体が児童生徒や保護者、地域からの信頼を失い、教育活動に多大な支障が生じることとなります。

以下に「教職員の非違行為根絶のための研修用資料」（平成28年3月青森県教育委員会）の内容を一部抜粋して示しますので、御確認ください。

体罰

体罰とは、殴る、蹴る等の身体に対する侵害のほか、正座、直立等の特定の姿勢を長時間にわたり保持させるなど、児童生徒に肉体的苦痛を与える重大な人権侵害行為です。

懲戒処分の標準例は、以下のとおりとなっています。

区分	標準処分例
体罰により、児童生徒を死亡させ、又は児童生徒に重大な後遺症を残す傷害を負わせた職員	免職又は停職
体罰により、児童生徒に傷害を負わせた職員	停職、減給又は戒告
体罰を常習的に行っていた職員又は特に悪質な態様の体罰を行った職員	停職、減給又は戒告

※ 民事上の責任として、治療費を支払う必要があったり、感謝料を請求されたりする場合があります。

また、刑事上の責任を問われた場合は、以下のとおりとなっています。

区分	刑事処分
人の身体を傷害した場合 (刑法第204条 傷害)	15年以下の懲役又は50万円以下の罰金
暴行を加えた者が人の身体を傷害するに至らなかったとき (刑法第208条 暴行)	2年以下の懲役又は30万円以下の罰金又は拘留若しくは科料

最後に、以下の2点について紹介しますので、今一度御確認の上、体罰によらない指導の徹底をお願いします。

1 怒りの適切な表出「アンガーマネジメント」

体罰と直結しやすい怒りの感情について、適切な表現方法を学ぶのが「アンガーマネジメント」です。「怒れば何とかなる」とか、即効性を求めて「怒鳴った方が子どもが動く」

と思いませんか。アンガーマネジメントは「怒らないこと」ではなく、怒りの感情と上手に付き合うことを意味します。

学校教育は、人間関係を学ぶ場であり、怒りの対処について教員自身がよき大人としてのモデルとならなくてはなりませんので、児童生徒に対しては、「怒りの感情（二次感情）」で伝えるのではなく、その根底にある「感情」（一次感情）を伝えること、また、叱るときは、「理性的」に接するように努め、叱った後のフォローアップも忘れずに行うことが大事です。

2 子どもとの関係を築くコミュニケーション「アサーション」

日常の会話において自分も相手も大切に「アサーション」という自己表現方法を用いることで、より良好な人間関係を構築することができます。

「アサーション」とは、相手のことも大切にしながら自分の考えや思いをさわやかに表現する言い方です。一方的な自己主張ではなく、お互いの考えや感情を尊重しつつ、会話上の心地よいコミュニケーションを展開します。

ただ、どんなに配慮した表現をしたとしても、それが子どもに受け入れてもらえるとは限りません。そういった場合には、「I（私）メッセージ」と「お願い口調のメッセージ」を使うようにしてみてください。

《 臨時講師等の募集について ～総務課から～ 》

現在、当事務所管内において、臨時講師等の欠員等が生じております。

お知り合いの方で、教員免許をお持ちで臨時講師等をお引受けいただける方がいらっしゃいましたら、御紹介くださるようよろしくお願いいたします。

【欠員等の状況（令和6年12月1日現在）】

小学校（臨時講師（欠員）：11名）

小学校（臨時講師（病休代替）：2名）

中学校（臨時講師（欠員）：2名）

中学校（臨時講師（病休代替）：2名）

中学校（非常勤講師：8名）